

競 技 注 意 事 項

1 競技について

- (1) 本競技会は2023年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則、日本マスターズ陸上競技連合競技規則及び本競技会要項並びに競技注意事項によって行う。
- (2) 小学生のトラック競技のスタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。スターティングブロックは使用しなくてもよい。
小学生の同じ競技者が2回不正スタートをした場合は、その競技者を失格とし、オープン参加として走る。
- (3) 小学生1～6年生はアスリートビブスを付けて競技する。
一般の競技者はアスリートビブスを胸部と背部につけること。但し、跳躍競技の競技者は背又は胸だけでよい。マスターズは各自用意する。腰ナンバー標識は全員に配付する。
- (4) すべてのトラック種目は写真判定を行う。
リレー競技においては第4走者のみ腰ナンバー標識は右腰やや後方につける。
- (5) トラック競技は全て決勝とし、タイムレースで行う。
- (6) リレー種目に出場するチームは、オーダー用紙に必要事項を記入し、招集完了時刻の1時間前までに総務に1部提出する。ユニフォームは、原則として同一のものを着用する。
尚、オーダー用紙には、リレー種目以外からの競技者については出場種目を記入する。
リレー競技のマーカの使用は1か所とする。また、マーカは各チームで用意し、使用後はそのチームで処理する。
- (7) 投てき競技と走幅跳について小学生の試技は3回、一般は3回としトップ8は行わない。
- (8) 小学生の走高跳(はさみ跳び)は、マットへの着地は足裏からとし、背、腰からの着地は無効試技とする。バーの上げ方は次の通りとする。但し、気象状況等により変更することがある。
練習 80cm 90cmスタート、以後5cm上げを基本とするが競技者の状況も考慮する。
- (9) ジャベリックボール投げはやり投げピットで競技を行う。(投てき角度もやり投げと同様とする)
助走距離は15m以内、投げ方はオーバースローで投げる。
- (10) 投てき競技はペグ方式で計測する。

2 招集について

- (1) 招集は、各種目のスタート付近又は競技場所で行う。
- (2) 競技者は招集開始に遅れることのないように注意し、招集場所で競技者係から点呼を受けること。
(招集開始、完了時刻はアスリートランキングタイムテーブルに記載の通りである) その際、係員によるアスリートビブス、スパイク及びシャツ、バッグ等の商標のチェックも受けること。なお、携帯電話や通信機器及び音楽再生機器等は競技場内へは持ち込めない。
- (3) 招集は本人が行う。但し、他の種目に出場している場合のみ代理を認める。
- (4) 他種目と兼ねて同時に競技する者は、競技者係及びその種目の審判員に申し出て、競技に支障のないようにする。

3 練習場所について

- (1) 練習はサブグラウンド及び雨覆練習場を使用する。
- (2) 投てき競技の練習は競技場内で審判員の指示により行い、サブグラウンドでの投てき練習は禁止する。

(3) 事故防止には十分留意すること。

4 表彰について

- (1) 各種目、学年、男女別に 8 位までに賞状を授与します。
- (2) リレーは 3 位までのチームに賞状（4 枚）を授与します。
- (3) 希望の方には記録証を発行します。※正面玄関「競技者受付」に申し込む。（1 部 2 0 0 円）

5 競技者の移動、応援テントの設営について

- (1) 役員・係以外の本部席前の通行を禁止する。
- (2) 競技場内への移動は係の指示に従うこと。その場合、フィニッシュ地点と 100m スタート地点のゲートを使用し、他の出入口は一切使用しない。
- (3) その競技を行う競技者以外は競技場内に立ち入ってはならない。
- (4) 競技運営に支障のあるような応援はしないこと。
- (5) サイドスタンド、バックスタンドは解放しない。

6 救護について

競技中に発生した傷害事故等に対しては、主催者は応急処置を行うが、それ以外の責任は一切負わない。尚、大会当日の傷害については、主催者側が加入する「傷害保険」が適用される。

7 その他

- (1) ごみは各自での持ち帰りをお願いします。
- (2) 最近、盗撮・盗難事案が多発しています。不審な行動をする人を見かけた時は、近くの役員にお知らせください。貴重品の管理は、各自で責任を持って行ってください。
- (3) 本競技会の結果・画像は、アスリートランキングのほか、メディア等によって公表される場合があります。結果には順位・記録のほか、競技者の氏名、所属、学年を含みます。ご了承ください。